

## インドの金利引き上げ時期が近づく

Raku  
Yomi

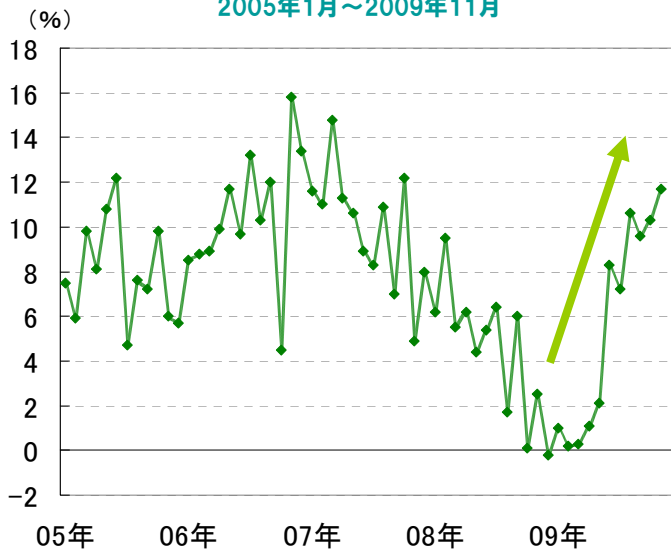
楽読(ラクヨミ)

nikko am  
fund academy

インド政府の景気刺激策や中央銀行による金融緩和策などが奏功し、インド経済は急速に持ち直しています。2009年7～9月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.9%と市場予想を上回るものとなりましたが、足元で発表されている経済指標も景気の回復を確認するような内容となっています。

## 鉱工業生産指数の推移(前年同月比)

2005年1月～2009年11月



(出所)インド中央統計機構

12日に発表された2009年11月の鉱工業生産指数は、前年同月比で+11.7%となり、上昇幅は10月の10.3%から拡大しました(左図参照)。

鉱工業生産の内訳を見ると、自動車や白物家電などの耐久消費財の生産が大きく伸びており、堅調な内需の拡大が生産活動の押し上げに寄与していることが示されました。

また、世界的な景気回復を受けてインドの輸出も回復基調を続けており、内需のみならず、外需の改善も生産を押し上げました。

2009年12月の卸売物価指数の伸びは前年同月比+7.31%と前月の同+4.78%から大幅に拡大しました。加えて、11月の消費者物価指数も前年同月比+13.5%(10月は同+11.5%)と伸びが加速しています(右図参照)。

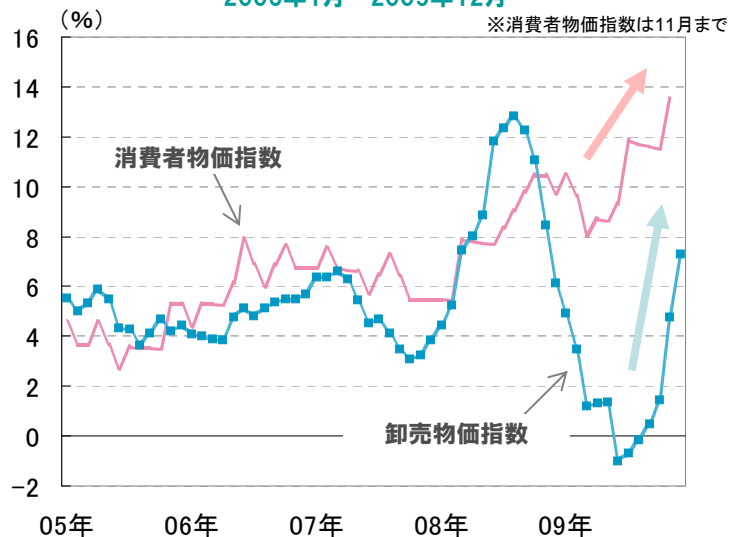
物価上昇は、深刻な雨不足による農作物の不作が主因です。

また、インド経済の力強い回復による需要増加に加え、世界景気の回復に伴う一次産品や燃料価格の上昇も影響しているとみられ、急速に物価上昇圧力が強まっています。

⇒次ページに続く

## 物価指数の推移(前年同月比)

2005年1月～2009年12月\*



(出所)インド商工省、インド労働・雇用省

\*消費者物価指数は11月まで

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

インドの景気回復の動きが鮮明化してきたことに加え、物価が上昇傾向となっていることから、これまでの大幅な金融緩和政策が修正される可能性が高くなってきたと考えられます。

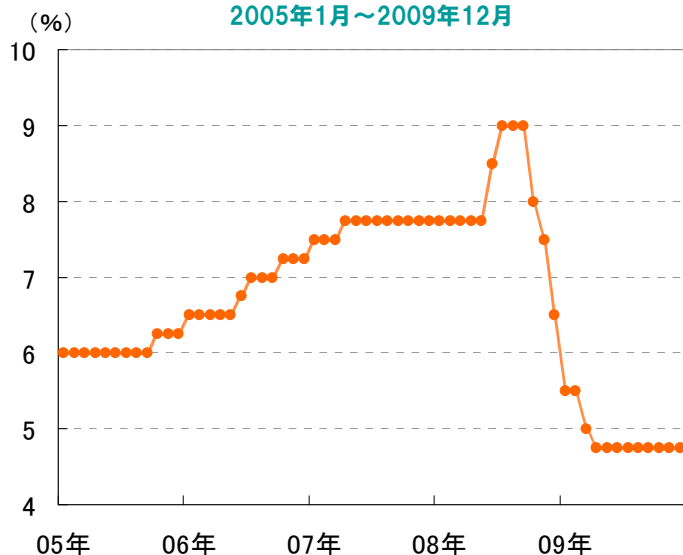
ただし、景気回復を阻害しないよう、中央銀行であるインド準備銀行は景気と物価を慎重に見極めながら、緩やかに継続的な利上げを行なうと考えられます。

仮に、政策金利が引き上げられれば、金融緩和政策が長期化するとみられる米国や日本との金利差が拡大することから、為替相場の方向性に影響を与える可能性があります。

なお、インドでは、1月29日に金融政策決定会合が予定されています。

### 政策金利(レポ金利)の推移

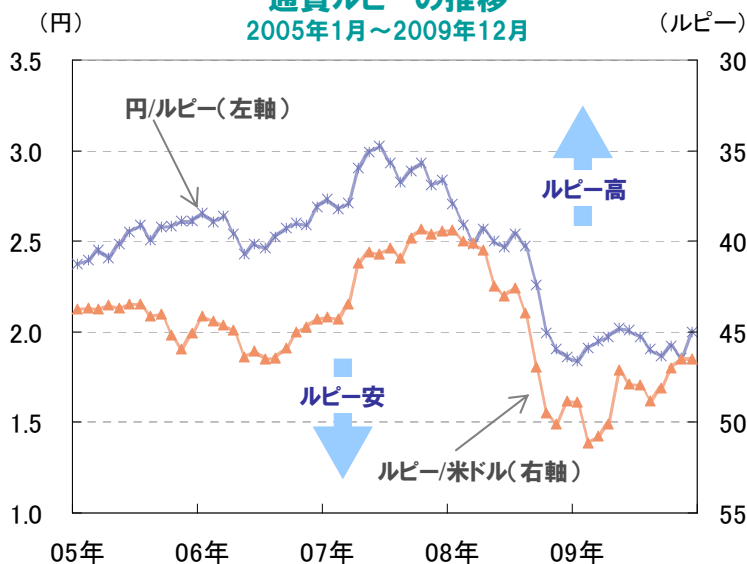
2005年1月～2009年12月



(出所)インド準備銀行

### 通貨ルピーの推移

2005年1月～2009年12月



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。